

## 天理よろづ相談所病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。  
 本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。  
 お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。  
 また、この研究は当院の研究倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	ファロー四徴症術後成人患者の右室容積の推定における心エコー図による右室流出路面積の有用性
当院の研究責任者（所属）	循環器内科 野口 祐
本研究の目的	ファロー四徴症術後（rTOF）の患者さんにおいて右室容積の正確な評価は治療方針決定の上で重要です。既報で経胸壁心エコーでの右室拡張末期面積係数（RVEDA <sub>i</sub> ）により右室容積が推定可能という報告があるが、RVEDA <sub>i</sub> には右室流出路が含まれておりません。我々は右室流出路も考慮した指標が、より正確に右室容積を反映するのではないかとこの仮説を立て、検証します。
調査データ 該当期間	2016年3月1日～2025年4月30日
研究方法 （使用する試料等）	<p>■調査対象となる患者様          2016年9月1日～2025年4月30日に当院で心臓MRI検査を施行した18歳以上のrTOFの患者さんが対象となります。</p> <p>■使用する情報          診療記録、経胸壁心エコー図検査データ、心電図データ、心臓MRI検査データなど当院でのデータを収集します</p>
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。利益相反については、当院の利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。
研究期間	病院長承認日 ~ 2027年3月31日
お問い合わせ先	天理よろづ相談所病院 循環器内科 電話：0743-63-5611 (代表) 研究責任者：野口 祐